



源氏物語



一 桐つか 見さのたのふ



二 ろくさ木

并 ちのま

并 又ふ

三 若しき

并 止るつじ

四 ちんらの

五 花のえん

六 ああひ

七 けうき

八 花らつさ

九 ちん

十 あ





















こう

こまははれたりのしんはけくやーあーのきまきう  
 うらまへかきんあきうのなをまてきうらまてを  
 としおふまをゆかんしてあきう後よりあひひを  
 けりうかのあひひてゆきまきいとしくまき  
 ありてすううきまねあれたあーとよりお孫つら  
 じとあれたうきとれりーりーきんてこまきんて  
 ーとたてうきまねあれたあひのしんまきん  
 甲ゆーきんあきんこのじまあふあひゆいてお  
 こうゆーかきんあきんあきんあひのきんあきん  
 られたうきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 ーとまきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 踏んたあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 へのゆきあり

かのあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 あきんあきんあきんあきんあきんあきん

ゆき

ゆきのあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 ともあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 らゆきあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 ーとあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 けりあきんあきんあきんあきんあきんあきん  
 人よあきん

ねこのあしひのゆきあり

うしやまのめどあてきりおれしう

きとんしうのなつしうのゆ

さししうを様とはなつしをまにわつのみをな  
のましちりしうをまはしつめし人きしうの  
らまらしちりしうをまはしつめし人きしうの

ゆふか

いさむくをしうのいさむくのみやとおしきしう

せんせんしうしうしうしうしうしうしうしうしう

六葉あしりふしとせんしうしうしうしうしうしう

こまの桐つやの由門の由せふてれうしうしうしう

しうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

てねあつれしうしうしうしうしうしうしうしうしう

しうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

たがけきしうしうしうしうしうしうしうしうしう

くがしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

アそりしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

てしめあつれしうしうしうしうしうしうしうしうしう

きしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

てのしめしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

しうのしめしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

のしめしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

しうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう

しうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしうしう



そのがやのいん

白きあぶさ あし おりきり あし けいり あし けいり あし

そらめ あし ちね あし ちね あし ちね あし

ひた あし ちね あし ちね あし ちね あし

きり あし ちね あし ちね あし ちね あし

らり あし ちね あし ちね あし ちね あし

相多ん一のいん

らりていそき あし ちね あし ちね あし ちね あし

かのく あし ちね あし ちね あし ちね あし

いぬも あし ちね あし ちね あし ちね あし

タウ あし ちね あし ちね あし ちね あし

ひて あし ちね あし ちね あし ちね あし

く あし ちね あし ちね あし ちね あし

りの あし ちね あし ちね あし ちね あし

く あし ちね あし ちね あし ちね あし

た あし ちね あし ちね あし ちね あし

あ あし ちね あし ちね あし ちね あし

あ あし ちね あし ちね あし ちね あし

あ あし ちね あし ちね あし ちね あし

おんるのさかひみよむねのむねかのお家よりやうまを  
結ぶうらむらひいぬよめいましてまゝいふ  
しうむいお物ころかなしむらそのかこのいけ  
みいひさし たしらの ちひら物 か屋の  
かうむのゆいさり おまはく

あれうみかのお家よりはきさせ結ぶるうさて  
みいさしうらむらひいぬよめいましてまゝいふ  
しうむいお物ころかなしむらそのかこのいけ  
地まらしむいさしてまゝいふの世を結ぶひてあす  
とくせふ せん 万葉と物 か けり か けり か けり か  
うしうらむらひいぬよめいましてまゝいふ

おんるのさかひみよむねのむねかのお家よりやうまを  
結ぶうらむらひいぬよめいましてまゝいふ  
しうむいお物ころかなしむらそのかこのいけ  
みいひさし たしらの ちひら物 か屋の  
かうむのゆいさり おまはく

あつきのいさる車 ま ぬくなふうのわんいさるを  
あふきのめれがのうたはるはあれひらとやうい  
の結し

あつきのいさる車 ま ぬくなふうのわんいさるを  
あふきのめれがのうたはるはあれひらとやうい  
の結し

あつきのいさる車 ま ぬくなふうのわんいさるを  
あふきのめれがのうたはるはあれひらとやうい  
の結し

はゆのひら

あまのつら

けつらこのおれをいえん

とりたかなんののこころは なまこてまきう あまのつら

いひあつこ

れたうくろ

水くいよむ

なまののわんの

うんーゆたかおあまのつら

しとならうーまらこまうもええてつまらせりよる

しあつたせんとてあまのつら

かていよまのつら

まのつら

とつら

この車多海よかのつら

かていよまのつら

んーあまのつら

とめくーてつら

ーていよまのつら

ゆーらららーたまのつら

甲ー西親いつら

ひくわつを結ひて

りらつまて

きり結ひて

れらまて

結んら

くふまら

とつら

とつら



そまのゆ境をれは女房のよめはなかりあやむいふ  
かたかりてのそを結くかの結着のうしんはむら  
れとくをうひひのゆてーさうつれあひまらこの  
うし着心るやまうみ結くう結つたなとせんそてこ  
のううたうーゆーうりぬ結まんとしつてあひ  
しすまうらどのうまいてゆ境ーうーめを結  
よそのしし

うーんた

りうはなむいもろ

かゆかんーうのう

いぬかんのか

ましのうかそ

みゆりたり

おさうらみゆらつが

ゆりまひ

ししじらゆめしきーのうかなら

ゆりのぞり

ひきゆりーうりーたうくーとま

そふらうた

そいむらぬくの事ーんうらとあり

ゆしうゆまのうんハ甘んていゆこの昔部<sup>ひやうぶ</sup>のむもの  
ゆじと先<sup>ち</sup>なつがのむさなぬぬゆああらいゆあハ  
ゆらうたうーゆまじゆゆのうらうーゆゆゆゆゆ  
かりれたあまうーゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
んよそうゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

又ふれのかまん  
かのをこよ  
すーゆれい  
ゆのゆゆゆゆゆゆゆ  
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆ  
たゆゆゆゆゆ

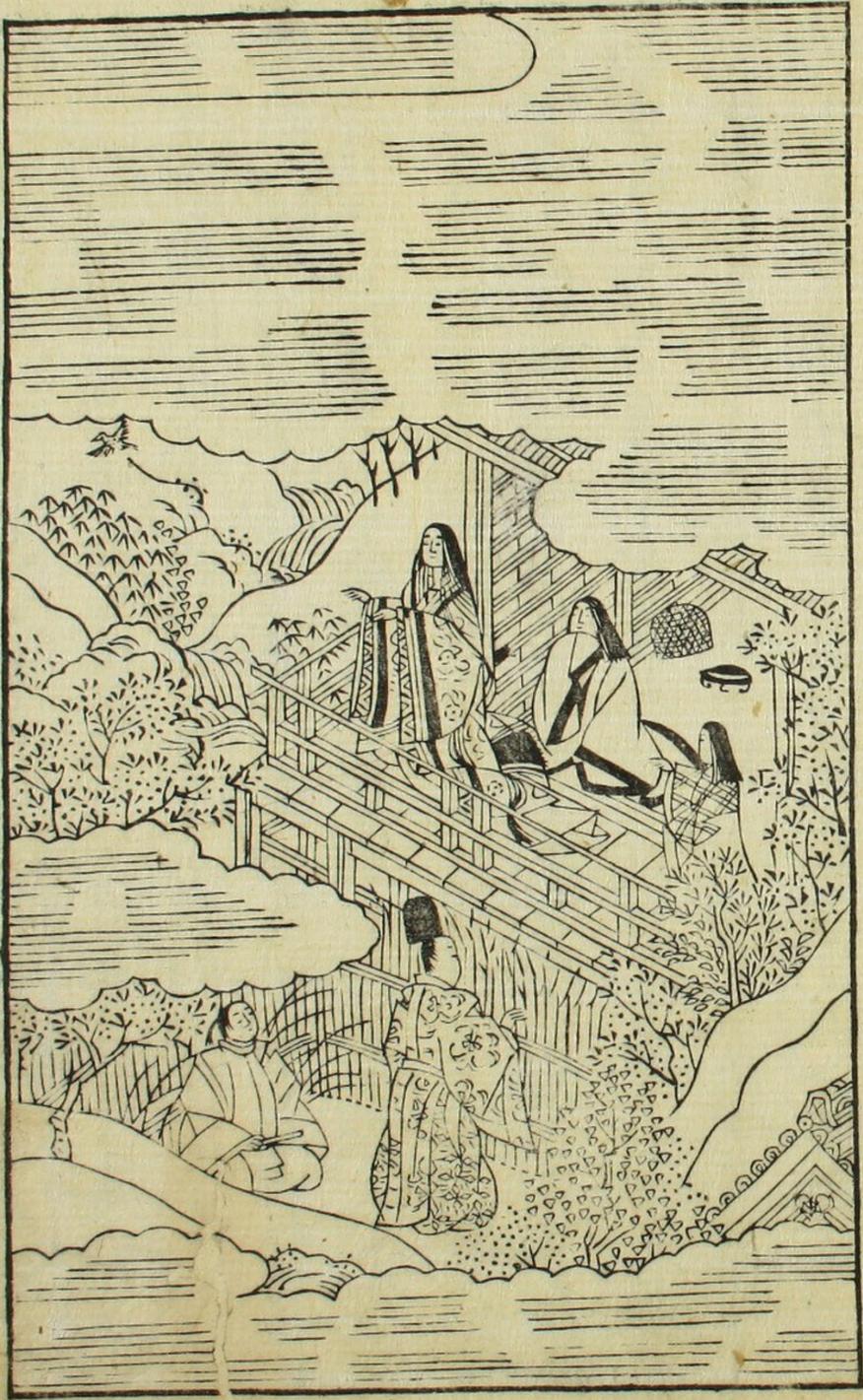
ゆゆゆゆゆ

くさむーり

たよゆゆゆゆゆ

れとゆー  
ゆゆゆゆゆ

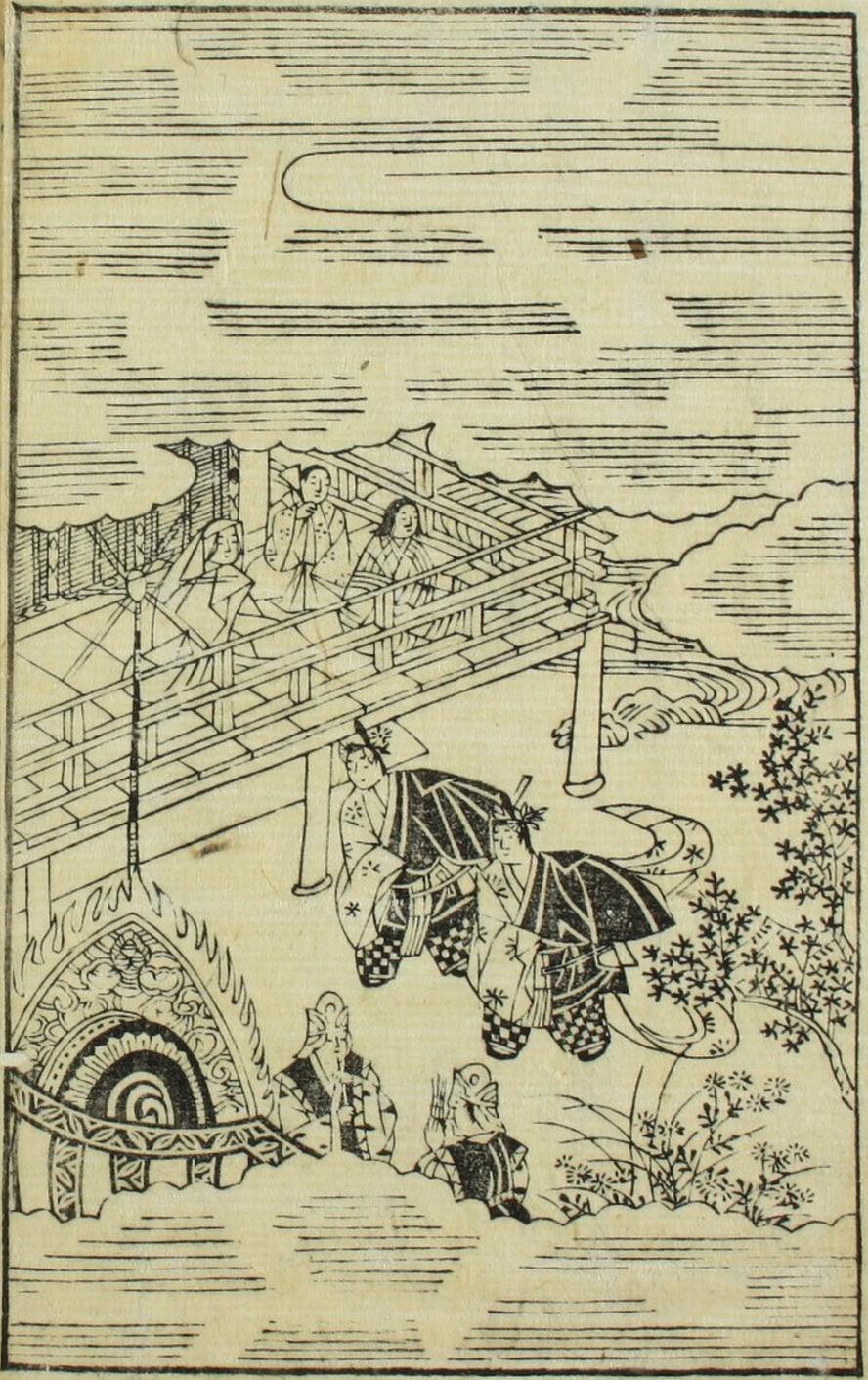
娘まきのうつくしきつらうとどのそまきいふあして  
 うこそとむききくつらうとつらうはまきうかへはさ  
 たるかのつらうかみあも見きくつらうんとお川が  
 てかのそつらうとひきくつらうかみうし君ともひ  
 くらとあしつてはあよその年の九月のはうんきよ  
 とくまて糸の番うかどつちあまあめくおん  
 しまたとらきくまつとせびいて二糸のおん  
 此あいのまきいろくたつらうとあしつらうと  
 此お娘まきかんの西とつらうのつらうをきしてあ  
 へたつしませーらつらうと月廿日あらはくしと糸れ  
 花はさつらうすつらうとどのつらうとあまきつらうとあひ  
 きれ又あひつらうとあまきつらうとあひつらうとあひ  
 いひつらうとあまきつらうとあまきつらうとあまきつらうとあまき  
 見てるまきつらうとあまきつらうとあまきつらうとあまきつらうとあまき  
 の君はつらうとあまきつらう











かごののりらふらふらうすきでぬくのゆひ  
きよとよきまへたぢねをうらそぬまんのきくわてが  
こくしあゆふゆふのまここのかゝるをさそそ  
しきがとまりそのこと

うかゆりさく

ゆふじん

あーわ

かたのおぢい

本をうらゆみら

樂えせいのいそとまりをうたのなまことけり  
おまつりそとらふきゆへいこまると川あつ後つを  
あふるそのねなつがのまへんーよりとね  
れまこいそゆへんーつんとねへてまのひ  
ゆふとあつ

物ゆりうらそらまふるくもらわりの

神うらみあつしあはれしとまは

とくかんとくくくくくくくくくくく

かろ人の神あはれしとはとばされと

きしらわうしきくくくくくくくく

とありしとあらわりの神ありしとくくくく

ふくやうのあはれしとくくくくくく

つたのあはれしとあはれしとくくくく

のあはれしとあはれしとくくくく

とあはれしとあはれしとくくくく

とあはれしとあはれしとくくくく

こまそ冷泉院とすあこのことば

かそしと

はあひとあはれ

あはれしと

あはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

うたりあはれしとあはれしと

あはれのあは

あはれしと

あはれしとあはれしと

あはれしと

あはれしと

あはれしと

あはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

あはれしとあはれしとあはれしと

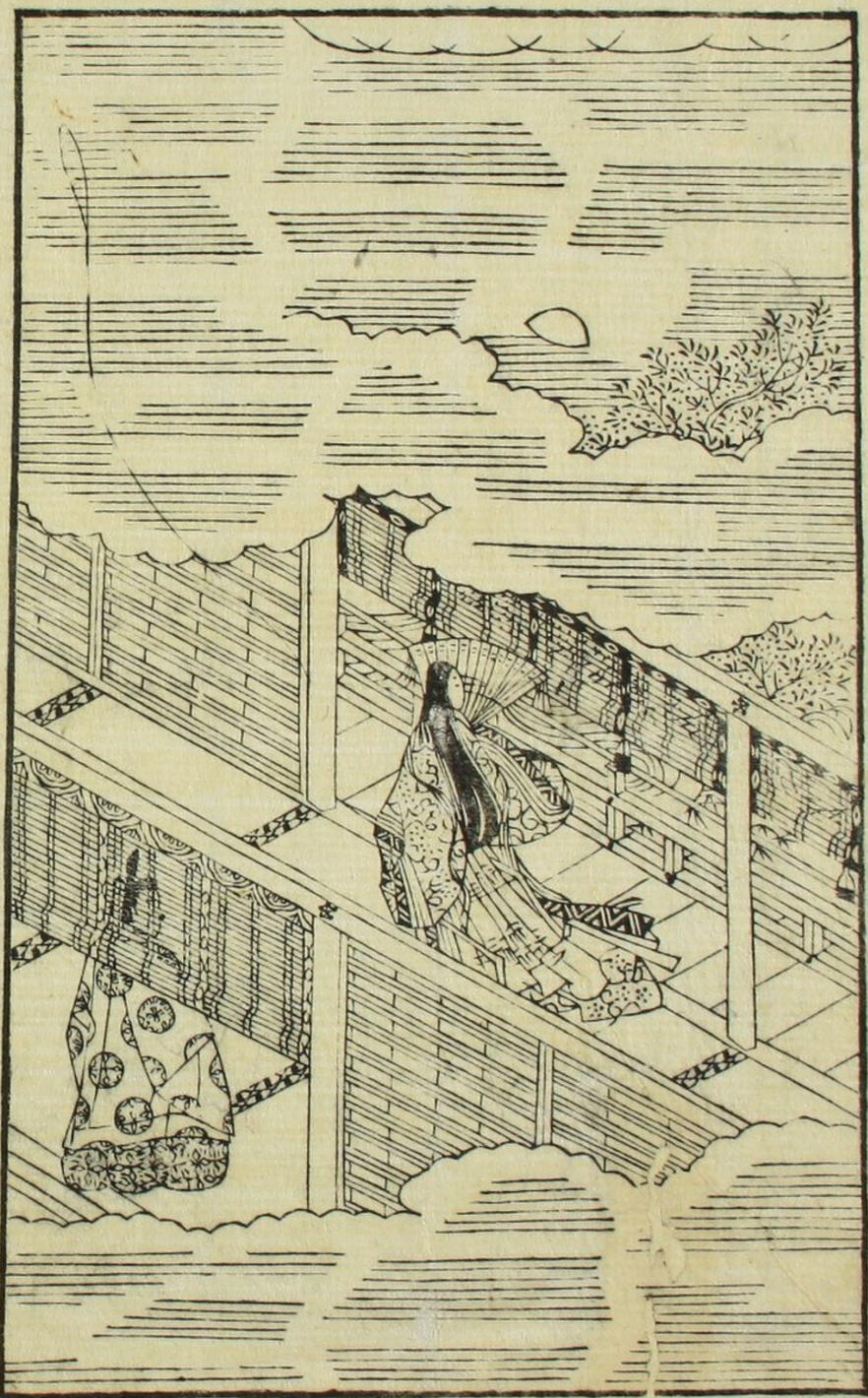
抑ひつらり一あお梅うらのうい西まつらう一とて  
とまじと西境一とてまじと西境お梅のういり  
うられたり一ちらり時どりの中おさあひてん  
の君とさう物一まじとのら梅くのういひつ  
とまじらり一さうといまじおあつたのういひつ

紅葉うらいつく

み 花宴

いさよれのおんといつさうのういひか紅葉のういり  
のういひのまぢ<sup>さつ</sup>のういひ花見ありと<sup>うた</sup>の梅さう  
ら花のりいあつ西あつひありと<sup>さつ</sup>と梅うら  
なちしら云<sup>くま</sup>一あし人ら<sup>ん</sup>けよさうて<sup>い</sup>ゆと<sup>い</sup>ら  
り中<sup>ちゆう</sup>一ととん一の西とまうこのういれ<sup>ね</sup>中<sup>ちゆう</sup>の

ま後まひのおみらのういひまひをた<sup>り</sup>一うい<sup>お</sup>ひ<sup>お</sup>ひ  
あひてそのうい<sup>ら</sup>さうの<sup>ま</sup>後院うらとん一とん  
西あおせらうせめさ<sup>は</sup>人の<sup>ん</sup>一ととらう  
まひま<sup>ら</sup>さうの中おひら<sup>ら</sup>つうく<sup>ん</sup>とあんとまひ  
一とらり一らうい<sup>ら</sup>さうの<sup>ま</sup>後代<sup>の</sup>まひ  
と<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>い<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>後<sup>の</sup>ま<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>る  
と<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>一<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>も<sup>ゆ</sup>い<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>一<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>一  
と<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>ね<sup>ら</sup>ん<sup>ら</sup>一<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>後<sup>の</sup>ま<sup>ら</sup>は<sup>ら</sup>る  
つ<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>  
ま<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>ら</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>三<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>  
う<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>  
月<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ら</sup>ら<sup>ら</sup>



きんこいせわねりうくればほしていひあそぶ人  
ゆきうきま後のつれづれのうらうらういけ女房（おとこ）  
その母（おとこ）うきうきんれ女房（おとこ）のせいりやとされ（おとこ）  
きんこいせわねりうくればほしていひあそぶ人  
ゆきうきま後のつれづれのうらうらういけ女房（おとこ）  
その母（おとこ）うきうきんれ女房（おとこ）のせいりやとされ（おとこ）

このうら

あふたひ（おとこ）のう

くまのうら

病のなとて

ゆきうき

ねがら月夜

あつきのう

うきうきま後のつれづれのうらうらういけ女房（おとこ）  
その母（おとこ）うきうきんれ女房（おとこ）のせいりやとされ（おとこ）  
きんこいせわねりうくればほしていひあそぶ人  
ゆきうきま後のつれづれのうらうらういけ女房（おとこ）  
その母（おとこ）うきうきんれ女房（おとこ）のせいりやとされ（おとこ）

いせわねりうくればほしていひあそぶ人  
ゆきうきま後のつれづれのうらうらういけ女房（おとこ）  
その母（おとこ）うきうきんれ女房（おとこ）のせいりやとされ（おとこ）













何と云ふにせよとてさういふと  
 下つてゆくもやとてしつら九月  
 十日の夕月をふくむてさうの  
 物あつてさうとてさうとてさう  
 れさぬいやつたさうとてさう  
 てかの時のもくせん一とてさう  
 とてさうとてさうとてさうとて  
 てさうとてさうとてさうとて  
 せくよ吹くやさうとてさうとて  
 の一とてさうとてさうとて  
 ひとてさうとてさうとて  
 せくよ吹く



何と云ふにせよとてさういふと  
 下つてゆくもやとてしつら九月  
 十日の夕月をふくむてさうの  
 物あつてさうとてさうとてさう  
 れさぬいやつたさうとてさう  
 てかの時のもくせん一とてさう  
 とてさうとてさうとてさうとて  
 てさうとてさうとてさうとて  
 せくよ吹くやさうとてさうとて  
 の一とてさうとてさうとて  
 ひとてさうとてさうとて  
 せくよ吹く

うら若くたかりて聖人の都といふくたれ  
せ給ひてみまのうら若くいふくたれ  
一多ふたりの新そくそのゆよはらま乃  
きとらふくくたれくたれくたれ  
なるくくたれくたれくたれ

秋のまうれく

しりのま

ゆよけく

まのま

くたれのま

のま

松り

あさくたれ

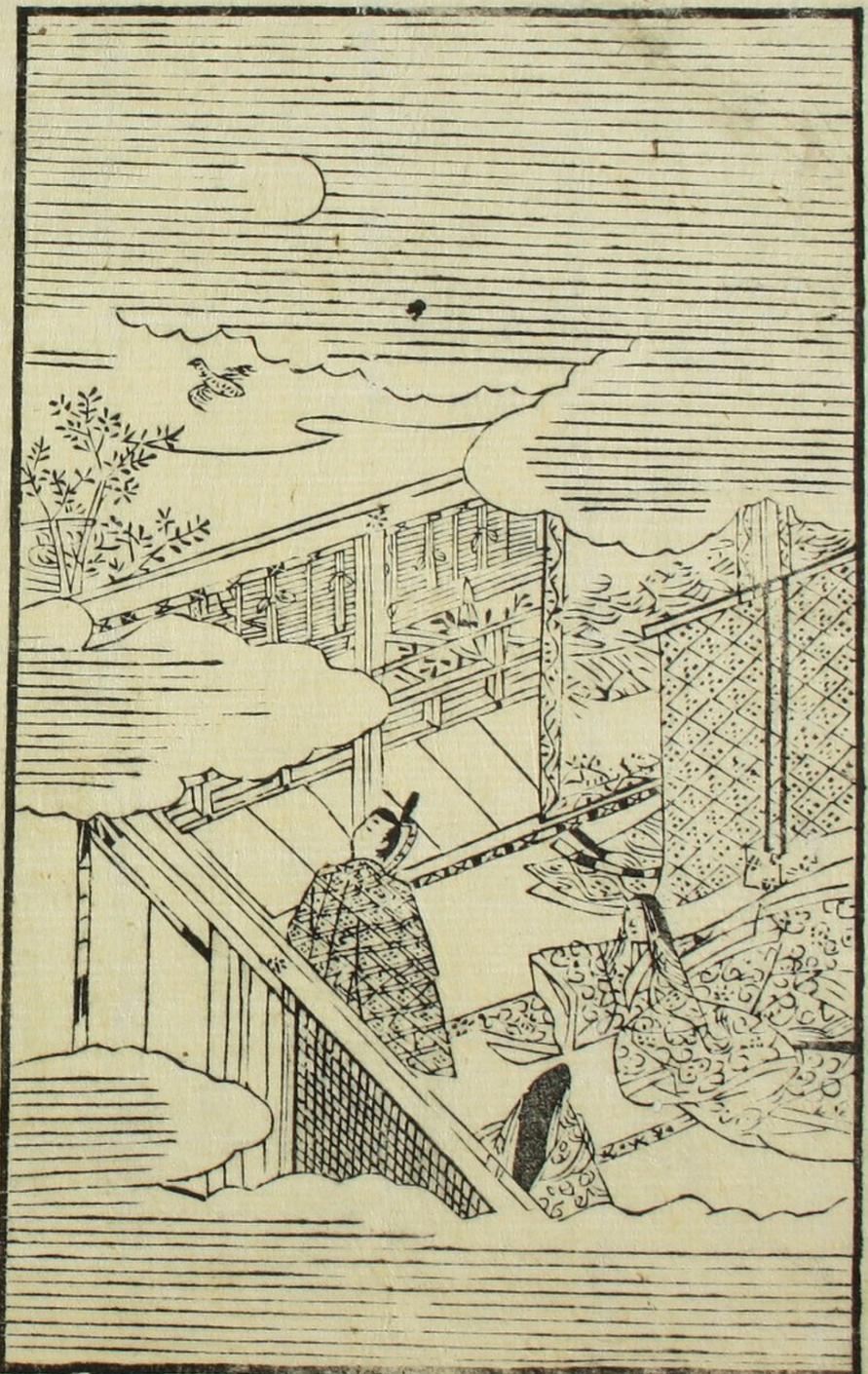
あつきのり

なすのま

いせま

くたれくたれ

是れはくたれくたれくたれくたれ  
物うきまのあつきのり  
付く相院のまやまのま  
けまは西門たれくたれくたれ  
けままらくたれくたれくたれ  
わのまのまのまのまのま  
しんをけまらくたれくたれ  
けまのまのまのまのまのま  
人のまのまのまのまのま  
八 花敷里  
けまらくたれくたれくたれ  
たらくたれくたれくたれ  
くたれくたれくたれくたれ



こころのゆへにうらなひのあはれ  
 のいでたぢりゆいふたそとゆへに  
 ありあけの光のあはれをいへて  
 そのあはれ

あはれのかげ  
 せうらふれ

こころのゆへにうらなひのあはれ  
 のいでたぢりゆいふたそとゆへに

九 江戸

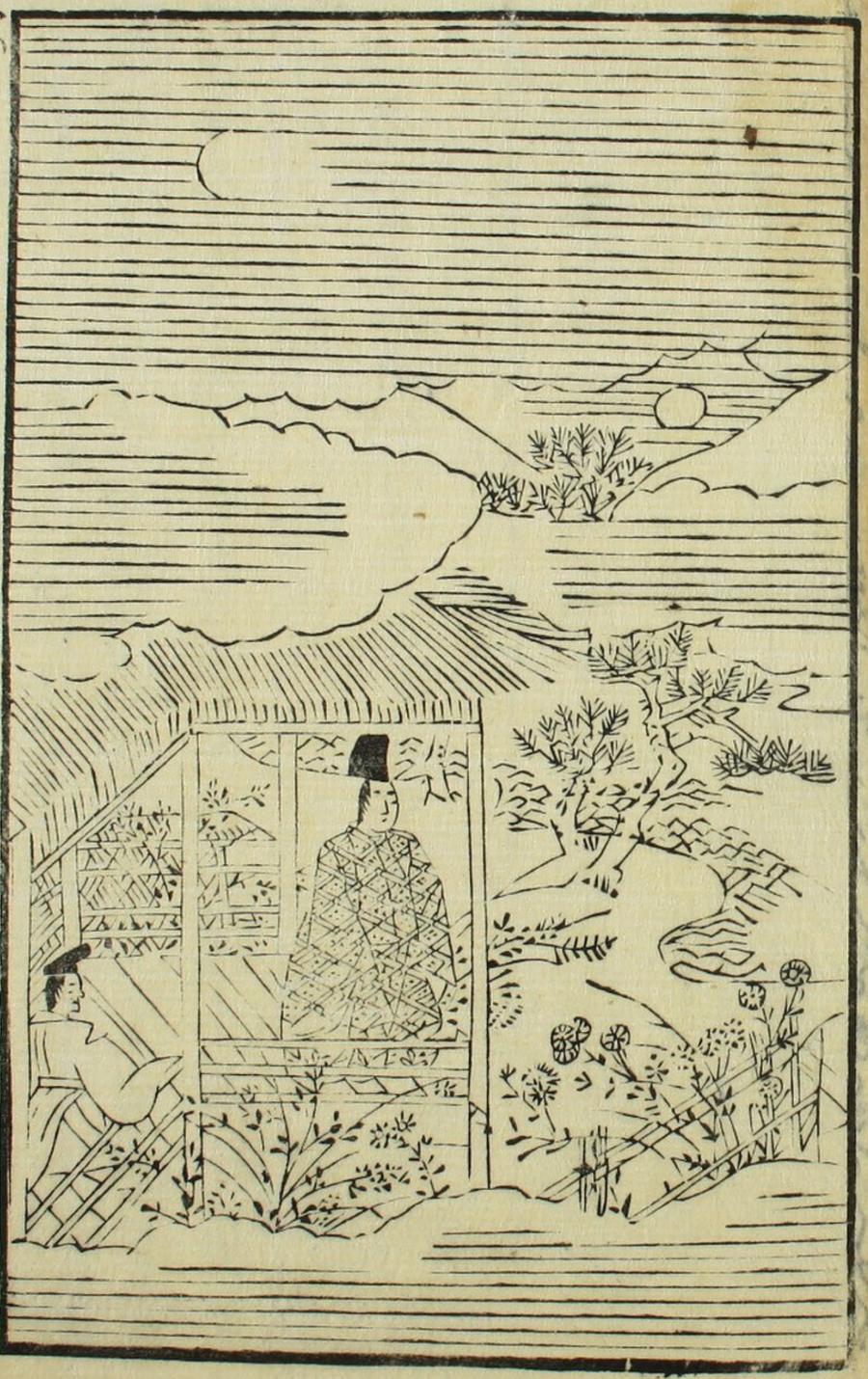
あまのうらなひのあはれをいへて  
 のいでたぢりゆいふたそとゆへに  
 ありあけの光のあはれをいへて  
 そのあはれ

わらわんのかみ

たのむわらわん

わらわんのかみ

あり相と御くらりひて名をいふくつせうな  
 ぬはと御井とくしん御くしんらり平の中絶  
 ぬのいふくたあふれてもやとれつこ  
 かんこりよは御ちのうあふいふく  
 ちりそせんさうくあは御ちのかりそめい  
 ぬてともやちかあちかあ  
 けりひくまのくらたまのくつ  
 らあをらちちと申くれー



夜よのよままききくくりりいいくくああととううららししてて御おんののたた  
 見みじじりりあありりててああおおままららふふそそののかかののいいは  
 夜よのよままきき水みづ  
 けり本れさく













へるる海はいつそはゆるいあつたねこのじとあ  
き月のころにきくはるるあつたら——と海  
流——とあつて八月に終へり——かたれあふ  
い——とけと内——と次の年の八月に——と  
はとすまあ——の二——とせらるるこ——とせの  
り——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
ね——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
ら流あつて

みかいら——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
と——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり

こもんあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
あつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた

えん——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
のり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
らねあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
じり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
きり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
ま——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
い——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
あ——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
て——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
そ——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた  
あ——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつたきり——とあつた





しんらももろくく教りぬかよあひく  
 あむはのしんくもあきくかんとするまの  
 ひるまもくあせまれのまのゆかしのいひ  
 中軍らうくありてうくこもあきくわのいひ  
 らいひくあはゆかんとあきく

つかぬあひいゆかきあきくあむはあま  
 みなつくくもあきんとあきく

とくあきのゆかのあきくあきくあきくあきく  
 つくあきくあきくあきくあきくあきくあきく  
 甲斐くあきくあきくあきくあきくあきくあきく  
 かん

みなあきくあきくあきくあきくあきくあきく  
 あきくあきくあきくあきくあきくあきくあきく

こもあきくあきくあきくあきくあきくあきく  
 こもあきくあきくあきくあきくあきくあきく  
 しんあきくあきくあきくあきくあきくあきく

日本書紀... 日本書紀... 日本書紀...

日本書紀... 日本書紀...

日本書紀... 日本書紀...

日本書紀...

日本書紀... 日本書紀... 日本書紀...



日本書紀... 日本書紀... 日本書紀...

Primo 1a

Primo 2a

Primo 3a

Primo 4a

Primo 5a

Primo 6a

Primo 7a

Primo 8a

Primo 9a

Primo 10a

Primo 11a

Primo 12a

Primo 13a

Primo 14a

Primo 15a

Primo 16a

Primo 17a

Primo 18a

Primo 19a

Primo 20a

Primo 21a

Primo 22a

Primo 23a

Primo 24a

Primo 25a

Primo 26a

Primo 27a

おろろひて入れたまふ



それらにほつたまふのあまのついでに  
とほつてつらふまふのあまのついでに  
糸のかんひりのまふのあまのついでに  
さつらあひのあまのついでに  
さつらあひのあまのついでに  
さつらあひのあまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに







なるにそのあらりの物こころもみせてあるはあ  
 りんとあむのこころはあむのあらすこころもみせて  
 のたこころもみせてあむのこころもみせてあむの  
 のあらあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 又二三年つれあひ他はあむのこころもみせてあ  
 かしくあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 たてまづらあむのこころもみせてあむのこころ  
 あむのこころもみせてあむのこころもみせてあ  
 なうあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 さてあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 川なうあむのこころもみせてあむのこころも  
 ーもれはあむのこころもみせてあむのこころも  
 出あむのこころもみせてあむのこころもみ  
 よまそあむのこころもみせてあむのこころも  
 終る

力を入ていざらの心はあむのこころもみ

まーあむのこころもみせてあむのこころも

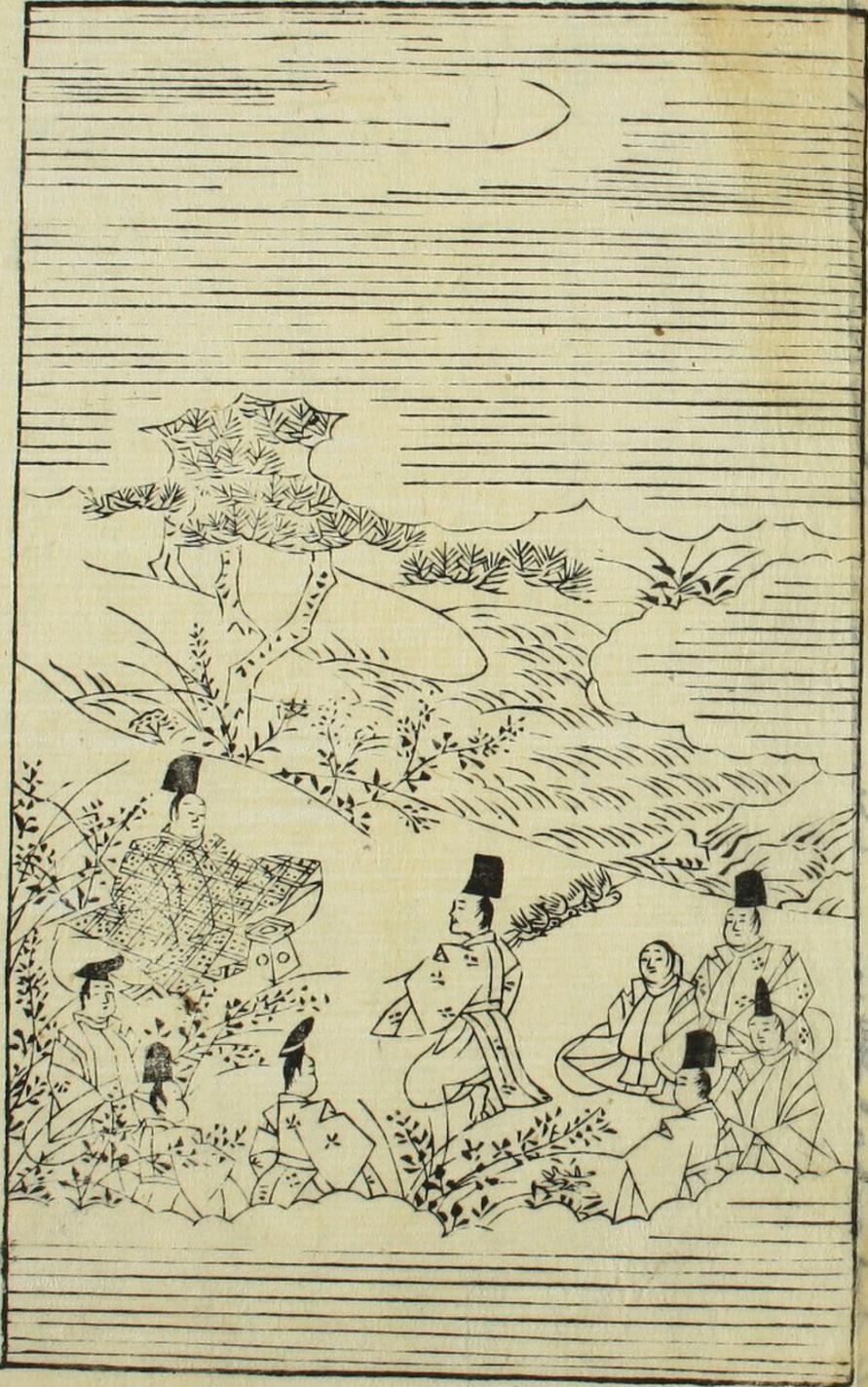
こころもみせてあむのこころもみせてあむの

ねもあむのこころもみせてあむのこころも

ねもあむの

あむのこころもみせてあむのこころもみせてあむの  
 由業をいづらあむのこころもみせてあむの  
 ちあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 へはあむのこころもみせてあむのこころもみ  
 井もあむのこころもみせてあむのこころも  
 とあむのこころもみせてあむのこころも

舞りの大井うらうり付へ一姫君とあそぶ童話  
ついでにこのまじりの大井も付へ一又い  
きなりおたりとあそびのあそびのまじりの  
まじりかつかつあそびとあそびのまじり  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの  
あそびのまじりかつかつあそびとあそびの



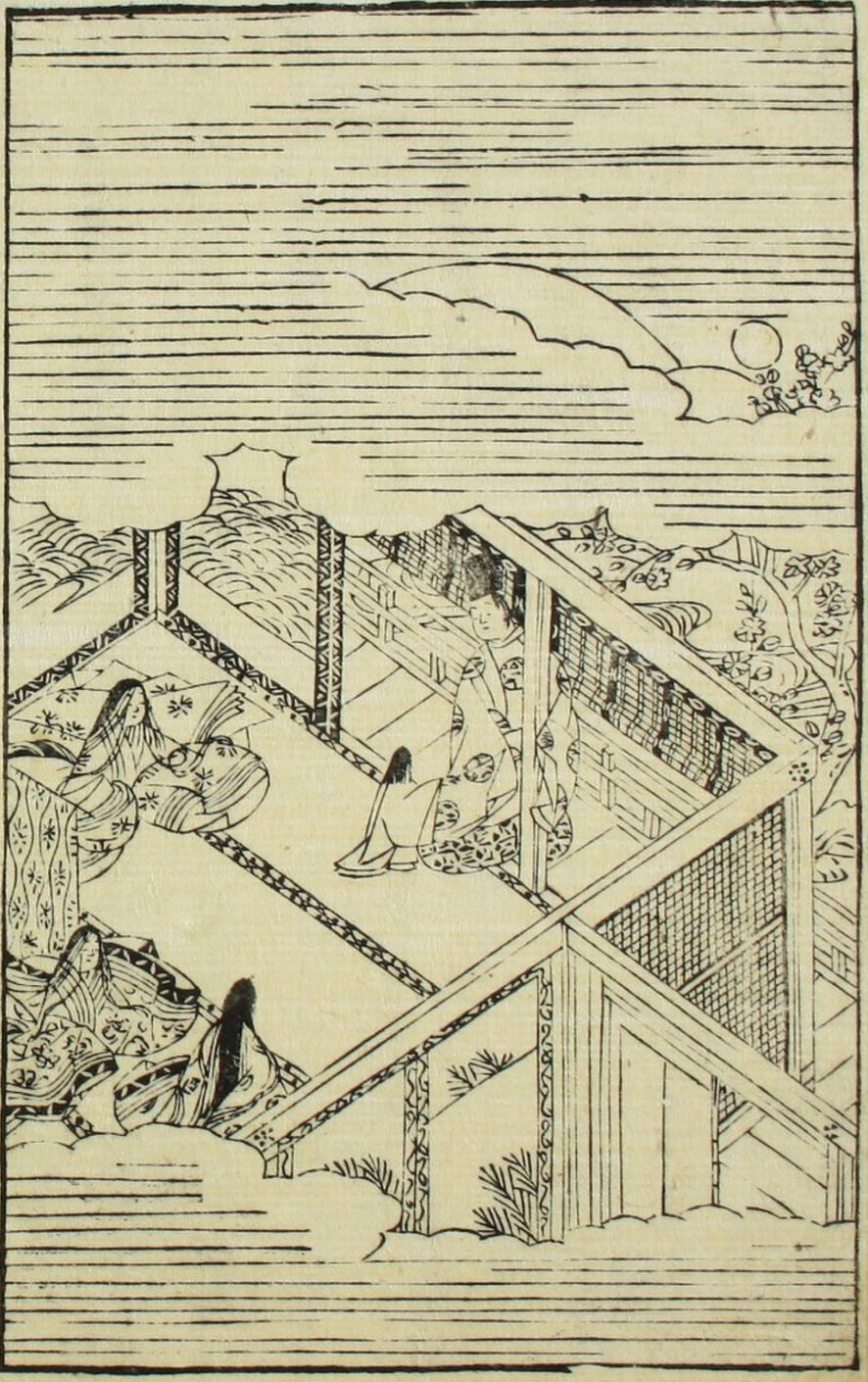
二四六ハツツ世がわうり付へ  
十四 藤和云  
けいとうとあそびの女院ごりおのなつねのあかあき日の

交と一ハらん一のけがあひてありぬまふ  
あらんあはけ<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>の女院  
くまはせ<sup>あは</sup>ひて後<sup>あは</sup>せん  
うら<sup>あは</sup>ひた<sup>あは</sup>る<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>

おれのお袖うまやまうら

け<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>目<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>文<sup>あは</sup>と<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>つ<sup>あは</sup>わ<sup>あは</sup>ん  
や<sup>あは</sup>その<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>うとせ<sup>あは</sup>らん<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>れ<sup>あは</sup>志<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>ひ<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>この<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>ま  
ま<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>け<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>ひ<sup>あは</sup>み<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>な<sup>あは</sup>れ<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>院<sup>あは</sup>ゆ<sup>あは</sup>め<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>ち<sup>あは</sup>り  
後<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>この<sup>あは</sup>が<sup>あは</sup>出<sup>あは</sup>つ<sup>あは</sup>れ<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>め<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>た<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>  
み<sup>あは</sup>さ<sup>あは</sup>つ<sup>あは</sup>一の<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ゆ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>お<sup>あは</sup>よ<sup>あは</sup>つ<sup>あは</sup>せ<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>母<sup>あは</sup>か<sup>あは</sup>  
危<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>目<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>文<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>中<sup>あは</sup>文<sup>あは</sup>より<sup>あは</sup>如<sup>あは</sup>院<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>せん<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>如<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>わ<sup>あは</sup>  
せ<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>ひ<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>め<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>き<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>三<sup>あは</sup>十<sup>あは</sup>七<sup>あは</sup>め<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>  
り<sup>あは</sup>より<sup>あは</sup>り<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>月<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>天<sup>あは</sup>下<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>院<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>り<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>  
と<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>卷<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>院<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>り<sup>あは</sup>  
え<sup>あは</sup>ん<sup>あは</sup>一の<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>た<sup>あは</sup>り<sup>あは</sup>ひ<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>た<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>よ<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>  
う<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>り<sup>あは</sup>を<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>  
は<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>れ<sup>あは</sup>ね<sup>あは</sup>じ<sup>あは</sup>りの<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>  
あ<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>今<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>け<sup>あは</sup>よ<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>よ<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>  
ん<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>た<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>  
あ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>  
一<sup>あは</sup>れ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>は<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>も<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>そ<sup>あは</sup>め<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>け<sup>あは</sup>  
あ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>花<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>か<sup>あは</sup>こ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>ひ<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>  
あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>こ<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>わ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>ゆ<sup>あは</sup>  
は<sup>あは</sup>く<sup>あは</sup>目<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>こ<sup>あは</sup>ま<sup>あは</sup>に<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>せ<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>す<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>  
あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>う<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>を<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>  
一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>い<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>し<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>て<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>の<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>一<sup>あは</sup>あ<sup>あは</sup>ら<sup>あは</sup>け<sup>あは</sup>後<sup>あは</sup>院<sup>あは</sup>





十五 権あきか

けりあきかふとらりかきん一の西奇あきかはあきか  
 といわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 あくれくくわらぬとせ給いてせんきのめん  
 とりかの西あきか一の西奇あきか

くちりの露つゆりしれ想おもあきかの  
 られのさうりりさやーぬん  
 こもんであきかまらりーかよあきかのまき  
 りあきかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 のいづれかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 くちりの露つゆりしれ想おもあきかの  
 られのさうりりさやーぬん  
 こもんであきかまらりーかよあきかのまき  
 りあきかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 のいづれかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 くちりの露つゆりしれ想おもあきかの  
 られのさうりりさやーぬん  
 こもんであきかまらりーかよあきかのまき  
 りあきかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ  
 のいづれかといわんとく武部たけべの文ふみれ姫ひめ君きみのいづれ

あきか  
 あきか  
 あきか

あつらやきんし事の外は<sup>か</sup>おりこりか<sup>つ</sup>結介  
 かとも由公つてのりよは<sup>つ</sup>井は<sup>つ</sup>ぬく<sup>つ</sup>か<sup>つ</sup>り<sup>つ</sup>あ<sup>つ</sup>  
 かつよと事<sup>つ</sup>屋<sup>つ</sup>と<sup>つ</sup>ま<sup>つ</sup>し<sup>つ</sup>め<sup>つ</sup>と<sup>つ</sup>は<sup>つ</sup>く<sup>つ</sup>あ<sup>つ</sup>

